

第6章 計画の実現に向けて

第1節 市民・事業者・行政の役割分担及び協力体制

循環型社会の実現には、生産から処分までの過程で関わるすべての人が、それぞれの立場で、ごみの減量化・資源化についての役割や責任を認識し、お互いに協力し取組むことが必要です。

1. 市民・事業者・行政の協力体制の構築

循環型社会の実現に向け、市民・事業者・行政が共通の目標に向かって連携できる体制の構築を目指していきます。

2. 廃棄物に関わる組織体制の連携強化

自治会、地区衛生委員等と更なる連携を図り、ごみの減量化・資源化に取り組んでいきます。

第2節 市民・事業者の取組

市民・事業者がごみに対する意識改革を行い、ごみの減量化・資源化の取組を推進することが必要です。

1. 市民の行動

(1) 排出抑制を推進するために

ア ごみを出さないライフスタイルの実践

ごみの排出を減らすためには、 unnecessaryなものを買わない、受け取らない、また、石油由来の製品を購入しないなど日常生活から心掛けることが大切です。

イ 生ごみの水切りの徹底

生ごみの約70%は水分と言われ、しっかりと水切りをするだけで、ごみの減量に大きな効果があるので、生ごみを排出する前に一度絞りましょう。

ウ 生ごみ処理容器の購入補助

ごみの減量化・資源化を推進する事業として、家庭用電動式生ごみ処理機及び生ごみ処理容器の購入補助を行っています。生ごみ減量に努めましょう。

エ リサイクルボックス等の利用

市役所や市立公民館等に、使用済み小型家電を回収するリサイクルボックスを設置しています。積極的に利用し、ごみの減量化・資源化に努めましょう。

オ 店頭回収の利用

スーパーなどの小売店の自主的取組として、白色トレイや紙パック、使用済みインクカートリッジ等の回収ボックスを設置している店舗があります。積極的に利用し、ごみの減量化・資源化に努めましょう。

カ 食品ロスの削減

食品は必要な分だけ購入するよう心掛け、料理は食べきれぬ量だけ作りましょう。また、野菜などは残さずに料理できるよう工夫し、食品ロスの削減に努めましょう。また、フードドライブを積極的に活用しましょう。

(2) 資源化を推進するために

ア 分別の徹底

資源化を推進するためには、分別することが重要です。資源となる紙や容器包装プラスチックなどを燃やすごみと混ぜず、必ず分別してから捨てましょう。

イ 再生品の購入

再生品の需要がなければ、資源の循環は成り立ちません。買い物などをするときは、再生品を努めて購入するようにしましょう。

ウ フリーマーケットやリサイクル事業者の利用

不用になった衣類や小物、電化製品などを処分する場合には、フリーマーケット（フリマアプリを含む）やリサイクル事業者を利用するようにしましょう。

(3) ごみ出しルールやマナーの遵守

ア ごみ出しルールやマナーを守る

収集場所は、収集されるまでの一時仮置き場です。ルールやマナーが守られていないと地域の環境悪化につながります。生活環境を良好に保つため、必ずごみ出しルールを守りましょう。

イ 不法投棄及び不適持出の禁止

不法投棄や不適持出の増加は、生活環境悪化へつながります。

市全体で生活環境を良好に保つため、不法投棄や不適持出を防止しましょう。

2. 事業者の行動

(1) 自己責任で処理

自らの事業活動に伴って生じたごみは、自らの責任において適正に処理しましょう。

(2) 減量化・資源化の実施

再生利用を積極的に行い、石油由来の製品を購入（使用）しないなど、ごみ減量化・資源化を推進しましょう。

(3) 適正処理できる製品開発

物の製造・加工・販売などを行う場合、石油由来の製品の購入（使用）を控え、その製品がごみとなった場合の処理の困難性について評価を行い、適正処理ができるような製品開発を行いましょ

(4) 適正処理の情報提供

事業所において製造・販売した製品については情報提供及び自主回収などの対策を講じ、適正に処理しましょう。

(5) 食品循環資源の再利用

食品廃棄物を飼料や肥料などへの再生利用を推進することにより、食品循環資源の有効活用を図りましょ

第3節 基本計画の進行管理

1. 施策の事後評価

本計画を推進する上で、事業の着実な推進と進行管理をするとともに、施策についての事後評価を行い、諸条件の変化等による見直しを実施します。

2. 財政計画の立案

適切で効果的な廃棄物行政を推進するため、中・長期的な施策の実施スケジュールに基づいた財政計画を立案していきます。

第4節 ごみ処理広域化への対応

神奈川県ごみ処理広域化計画で本市は、平塚市・秦野市・大磯町・二宮町とともに「湘南西ブロック」として位置付けられています。

本市及び秦野市は、環境衛生組合を組織し、ごみ処理を行っていることから、秦野・伊勢原ブロックとして、湘南西ブロックにおける施設分担を始めとした広域化施策などの協力体制を強化していきます。